

重要種一覧（両生類・爬虫類・哺乳類）

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	種の保存法	文化財保護法	環境省RL	北海道	東北	関東	北陸	中国	四国	九州	確認河川	
1	両生綱	有尾目	サンショウウオ科	オオイトササンショウウオ	<i>Hynobius dumii</i>	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)										1	
2				トウホクサンショウウオ	<i>Hynobius lichenatus</i>	準絶滅危惧 (NT)										1	
3			イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhoestris</i>	準絶滅危惧 (NT)										8	
4		無尾目	アカガエル科	トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>	準絶滅危惧 (NT)										10	
5				トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	準絶滅危惧 (NT)										1	
6	爬虫綱	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	準絶滅危惧 (NT)										8	
7			スズメ科	ニホンスズメ	<i>Pelodiscus sinensis</i>	情報不足 (DD)										5	
	哺乳類	コウモリ目 (翼手目)	ヒナコウモリ科	フジホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi fujiensis</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
				ノレンコウモリ	<i>Myotis nattereri</i>	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)										1	
		サル目 (霊長目)	オナガザル科	ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
		ネズミ目 (齧歯目)	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus Iis</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
		ネコ目 (食肉目)	クマ科	ヒグマ	<i>Ursus arctos</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
				ツキノワグマ	<i>Selenarctos thibetanus</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
			イタチ科	チヨウセンイタチ	<i>Mustela sibirica coreana</i>	準絶滅危惧 (NT)										0	
9				イイズナ	<i>Mustela nivalis</i>	準絶滅危惧 (NT)										2	
		ウシ目 (偶蹄目)	シカ科	ホンドシカ	<i>Cervus nippon nippon</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)										0	
			ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	特天									0	
				両生類水系別確認種数					0	0	3	1	0	1	2	2	2
				爬虫類水系別確認種数					0	0	0	2	0	1	0	1	1
				哺乳類水系別確認種数					1	1	0	0	0	0	0	0	1
				両生類地方別確認種数					0	3	1	2	2	2	2	3	0
				爬虫類地方別確認種数					0	0	2	1	1	1	1	2	2
				哺乳類地方別確認種数					1	0	0	0	0	0	0	0	1
									0	0	2	1	1	1	1	2	2
									1	0	0	0	0	0	0	1	1
									1	0	0	0	0	0	0	1	1

注1) ○は、該当地域外での確認を示しており、重要種としてはカウントしていない。  
 注2) 種数の計数は「平成18年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニユアル〔河川版〕」に準拠して行った。

凡例

- 文化財保護法
- 特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- 種の保存法「絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律」
- 国内希少野生動物種および緊急指定種
- 環境省 編 「絶滅のおそれのある野生動物の種リスト」 (第4次レッドリスト：2012)
- 絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
- 野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種
- 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危険に傾いている種
- 絶滅危惧ⅡA類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- 絶滅危惧ⅡB類：ⅡA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- 絶滅危惧Ⅲ類：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧：現時点では絶滅の危険性が小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種
- 情報不足：評価するための情報が不足している種
- 付属資料「絶滅のおそれのある地域個体群」
- 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群